

しんりんかんだより

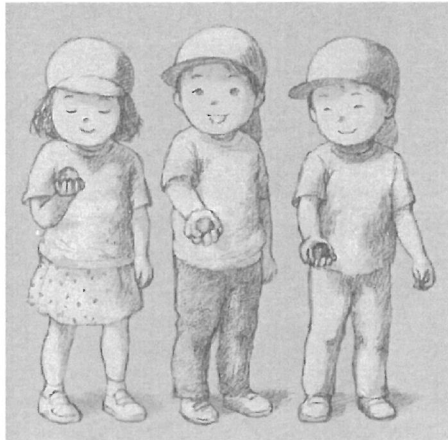
年主題

「ともにつむぎだす」～希望の中で～

月主題 3F/2F たのしいね ひろがる／つながって

‘23 第7号 (vol. 79)

2023年10月2日発行



「つながって」

こぼと組（2歳クラス）のNちゃんは、散歩の時、歩くのが嫌いで、ひよこ組さん（1歳児クラス）の散歩車に乗りたがって泣いていました。しかし最近、ひよこ組のRちゃんがお気に入り、で、「散歩に行くよ～」と保育者が声を掛けるとRちゃんの手を取って「一緒に行こう～」と微笑みかけています。Rちゃんがいつも快く受け入れてくれる訳ではありませんが、ひよこ組さんが手を繋いでくれた時は、行く道も、帰る道もご機嫌で歩くことができるNちゃんです。

冒険大好き、ひよこ組のA君は、こぼと組のお姉さんたちがやることに興味津々です。NちゃんとHちゃんも穴から「ばあーっ」と顔を出すと、「僕も入ってみたい～」と言うように、自らコンクリートの台に上って穴に入ろうとチャレンジを始めました。時間をかけてやっと登りきると、身体を斜めにして足から穴に入れるように体の向きを変えながら試行錯誤していました。しばらく見守っていると・・・穴の中から顔を出して「ばあーっ」と控えめな笑顔のAちゃんと目が合いました。やったね！大成功～

幼児クラスが南公園でかけっこをしていました。光組さん（年長）がバトンを持ってトラックを走る姿を見て、「かっこいい～」「やってみたい～」と虹組さん（年少）たちも憧れていました。「いいよ貸してあげる・・・」ひかりさんから手渡されたバトンを手にしたT君は、全力疾走でトラックを駆け抜けていました。

1・2歳児、3・4・5歳児と一緒に生活する縦割り保育の中では、上手く行くことばかりではありません。こぼと組が作った大切なお家ごっこの家を「なにになに～楽しそう～」と入ってくるひよこ組さんに壊されてしまったり、鬼ごっこのルールが分からず「わたしもやりたい～」「僕も入れて～」と鬼が増えてしまい「もーっどうしてだよ」と頭を抱える光組の姿があったり「入れて～」「だめよっ」「もう！どうしてだめなんだよ!!」と怒りを爆発させる姿は、日常茶飯事で上手く行かないことだらけです。でも、上手く行かないことを通して、子どもたちは相手にも気持ちがあることに気が付き、どうしたらいいのかを考えて、学んでいるのです。年下の子の、やってみたい！というキラキラした憧れの眼差しを受けて「仕方がないな・・・一緒にやってあげようか。」と先輩たちは胸を張ります。

そんな保育園での生活を通して、育ちあっている子どもたちの姿を親子レクリエーション大会や保育参加の場面で感じていただければと思っています。

（主任 鹿糠正美）